



炬火を掲げていざ謳う

No.79



我らの泉鳥取

2024年6月3日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

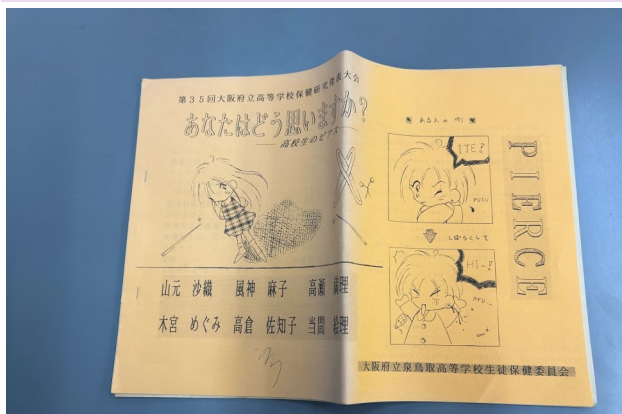
大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

生徒保健委員会（古資料発見）

ー二歩先を行く調べ学習&プレゼンテーションー

2024年の3月、学校を整理していると、1995年「第35回大阪府立高等学校保健研究発表大会」の発表用資料が発見されました。学校創建時から部活動以上に活動していた委員会活動が、生徒保健委員会です。1980年代を中心に、生徒の健康や安全にかかわる調査・発表を行っていました。具体的には「朝食」「栄養」「歯」「自転車と交通標識」「ピアスの害」など多岐にわたるテーマについて、調べ、まとめ、発表していました。そこには指導する教員たちの並々ならぬ苦勞がうかがわれます。



第35回発表大会のレジュメ

1995年度の資料をみると、生徒保健委員会の発表者は6名です。内容は『あなたは どう思いますか？ー高校生のピアス』というテーマです。内容としては、校則で禁じているにもかかわらず、ピアスをしている高校生が急増しました。この調査発表では、生徒の約半数がピアスをしており、相当数の生徒の耳が腫れる、膿むなどの被害が出ています。被害を克服するため、ピアスと金属アレルギーの実態について調べて発表しました。章立ては以下の通り。

- 1 はじめに（問題点と発表の方向）
- 2 調査方法（ピアスアンケート 校内）
- 3 アンケート結果
- 4 金属アレルギートラブルの具体例（聞き取り）
- 5 皮膚科訪問（聞き取り）

6 保健委員会の感想と結論

内容をみると、十分に「論文」と呼べるレベルです。アンケートからグラフを作り、考察を図ったうえで、ピアスと金属アレルギーについて質問を精選し、皮膚科に赴いて質問をし、専門家の意見を聞いています。

学校保健委員会を組織し、指導していたのは、当時の養護教諭でした。藤井（西）眞喜子先生や宮田律子先生の時代、保健部の教職員とともに1年間指導し、今の評価の基軸である三観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「自ら学び続ける意欲」を見事に育成していました。

1970年代から1990年代にかけて、数多くの発表を行い、府教育委員会からも表彰をいただきましたが、1990年代後半には生徒の参加状況が悪化、活動は低調となっていきました。



一九八六年生徒保健委員会発表
清涼飲料水について